GReddy
Electronic Performance Devices

MULTI SWITCHING SYSTEM

Take it easy!

取 扱 説 明 書

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、理解された上で正しくお使い下さい。

はじめに

この度は、GReddy MULTI SWITCHING SYSTEMをお買上げくださいまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、GReddy MULTI SWITCHING SYSTEMを初めてお使い頂く方はもちろん、すでに、お使いになられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再認識する上でお役に立つものと考えております。

この取扱説明書は、よくお読みになり、内容を理解された上で実際にお使い下さいますようお願い申し上げます。

又、この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように車内に保管されることをお勧め致します。

尚、本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。

◆お客様と製品のかかわり合い◆ **必ずお読み下さい**

車とその取り扱い方法は、各自動車メーカーの、お客様に対しての安全と快適な生活に関する、不断の研究開発の結果として生み出されたものです。

弊社もまた、お客様に製品を安全にかつ快適にお使い頂くために、不断の努力をしておりますが、製品の持つ特性上、その性能や利便性と引き替えに、自動車メーカーの提供する安全が、確保できなくなる場合があります。

その様な場合に必要な、安全に対する配慮と判断は、すべてお客様ご自身の責任でお考え頂かなくてはなりません。

お客様の車と弊社の製品を、安全にかつ快適にお使い頂くためにも、製品を取り付ける車の取扱説明書を合わせて、よくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１
お客様と製品とのかかわり合い ・・・・・・・ 必ずお読み下さい P１
もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P２
安全・取り扱いに関するご注意・・・・・・・・ 必ずお読み下さい P３～
部品構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P７
オプションパーツについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P７
本製品の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P８
取り付け前の注意・・・・・・・・・・・・・・ 必ずお読み下さい P８
配線方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P９
配線方法（リレーキット）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１０
本体の取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１０
取り付け後の確認・・・・・・・・・・・・・・・ 必ずお読み下さい P１０
各部の名称と機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１１
単位について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１２
モード早見表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１２
初期設定モード
　センサー設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１３～
　回転数設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１５
　車速設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１６
　NO.1動作設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１７
　NO.2動作設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１７
表示・設定モード
　リアルタイム表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１８
　　表示の切り替え方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１８
　　ピーク値の表示・クリア方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１８
　NO.1設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P１９
　NO.2設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P２０
　ワーニング設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P２１
設定例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P２１
トラブルシューティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P２２
アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P２２

安全・取り扱いに関するご注意　必ずお読み下さい

製品を安全にお使い頂くには、正しい取り付けと正しい操作が不可欠です。

この取扱説明書、ならびに、取り付ける車両の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

又、この取扱説明書に書かれていない取り扱いをされる場合に必要な、安全に対する配慮は、お客様ご自分の責任でお考え頂くことになります。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂くために、守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

⚠ 警告	もし、お守り頂かないと生命の危機、又は、重傷を負う人身事故につながる恐れのある注意事項です。

⚠ 注意	もし、お守り頂かないと、製品だけでなく自動車や設備の破損・故障につながる恐れのある注意事項です。

お願い	製品を正しくお使い頂くために、必ず守って頂きたい注意事項です。

重　要	製品を正しくお使い頂くために、知っておいて頂きたい注意事項です。

安全・取り扱いに関するご注意　必ずお読み下さい

⚠ 警告

⚠ 取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理して下さい。自動車は、誤った扱い方をすると、思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。

⚠ 本製品の取り付け作業を行う際は、必ずエンジンが冷えてから行って下さい。エンジン停止直後は、エンジンやエンジンの周りの配管は高温になっており、火傷等をする恐れがあり大変危険です。

⚠ 必ず自動車の下に燃えやすい物がない事を確認してから、停車、駐車して下さい。自動車の排気部分は高温になり、エンジンを動かしたまま枯れ草等の燃えやすい物の上に停車や駐車すると、火災の危険があります。

⚠ 必要な時以外は、必ずエンジンを停止して下さい。マフラーのテールパイプからは、有毒な成分が含まれた排気ガスが排出され、締め切った車庫や倉庫の中等でエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。エンジンを動かす時は、屋外、又は窓を開け、換気扇等を回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で作業して下さい。

⚠ 車の中で休憩や仮眠をとる時は、必ずエンジンを停止して下さい。エンジンが動いたまま停車、又は駐車して、休憩や仮眠をとると、排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。

⚠ 本製品の取り付け・配線作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。専門外の方が作業されると、けがや火傷,車両火災を引き起こす可能性があり危険です。

⚠ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、脱落を招き、車両破損、車両火災の原因や運転の妨げになる可能性があり、大変危険です。

⚠ ハンダゴテ・ニッパー等の工具を使用する場合は、工具付属の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項等を守り正しくお使い下さい。これらの工具は誤った使い方をすると、けがや火傷等を引き起こす恐れがあります。

⚠ 作業終了後は、必ず運転席の足元に何もないことを確認して下さい。運転席の足元に空き缶や使用した工具等があると、ブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作が出来なくなる恐れがあり、大変危険です。

⚠ 助手席のエアバック上に、本製品を取り付けないで下さい。エアバック作動時に飛び出し、ケガや事故を引き起こす原因となり、大変危険です。

⚠ 運転中は絶対に本製品の操作をしないで下さい。わき見運転は思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。

⚠ 車両を発進させる時は、必ず周りに何もない事を確認して下さい。不用意に発進させると、思わぬ人身や破損の事故等を引き起こす恐れがあります。

⚠ 本製品を取り付けた車両を、他の人に貸し出し、又は譲渡する場合は、必ず本製品が取り付けられていることを知らせ、この取扱説明書と保証書も、必ず渡して下さい。

⚠ 注 意

⚠ 本製品が駆動できる最大電流は10A（120W)です。必ず駆動する製品の電流値を確認した上でご使用下さい。電流値がわからない場合や、10A以上になる場合、また、10A以下でも５分以上連続して駆動するような場合は、必ず別売のリレーキットを取り付けて下さい。10A以上の電流が流れた場合、本製品が発熱し本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。本製品の使用によって引き起こされたエンジンの破損、車両火災等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことができません。

⚠ 事故防止の為、必ず付属のヒューズは取り付けて下さい。また、指定以外の容量のものは絶対に使用しないで下さい。本製品の故障の原因になります。本製品の使用によって引き起こされたエンジンの破損等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことができません。

⚠ くれぐれも、誤配線、ショートはさせないで下さい。本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。これらの取り付けミスによる損害に関して、当社は一切の責任を負うことは出来ません。

⚠ 本製品の取り付けには、車両の内外装、および電装系の加工、取り外し等の作業がともないます。当社は、これらの作業による物的損害の責任を負うことは出来ませんので、慎重に作業を進めて下さい。

⚠ 配線作業を行う時には、必ず、キーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。配線作業中に電流が流れると、ショートする可能性があり、危険です。

⚠ ハンダ付けにて配線を接続した場所は、必ずビニールテープ等を巻き、絶縁して下さい。

⚠ 本製品を分解、加工、改造しないで下さい。故障の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。

⚠ 本製品は、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や、ヒーターの吹き出し口等、高温になる所、又その近くには取り付けないで下さい。

⚠ 本製品は点火信号や無線等のノイズの発生しやすい場所には設置しないで下さい。又、本製品を強力な電波の発生する場所では使用しないで下さい。

⚠ 電波等によるノイズは、本製品の誤作動を引き起こす恐れがあります。
本体バックパネルのOPTION部には、指定のもの以外差し込まないで下さい。
本製品の破損、誤動作の原因となります。

お願い

- バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリー機能を持った時計、オーディオ類、ナビゲーションシステム、および電動シート等記憶内容が消去される物があります。作業前に、車両、及び各製品の取扱説明書で確認した上で作業を始めて下さい。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直して下さい。
- 本製品は、精密機械の為、落としたり強い衝撃を与えたりしないで下さい。
- 本製品をお買上げ後、７ページのパーツがあることを確認して下さい。
- 新品をお買上げの時点で、保証書の製品番号と本体付属の製品番号が異なっている場合は、お手数ですがお買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。
- 本製品のお手入れの際は、乾いた布で拭いて下さい。汚れのひどい場合には、少量の水をつけ固く絞った布で拭いてください。ベンジン・シンナー類を使用すると、ケースや塗装が変質しますので絶対に使用しないで下さい。
- 本製品及び、本取扱説明書は改良の為、予告なく仕様変更をする場合がありますのでご了承下さい。
- 本製品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。
  For Sale and Use in Japan Only.
- 本製品に関するご不明な点等がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。（住所・電話番号は下記記載。最終ページにも記載。）

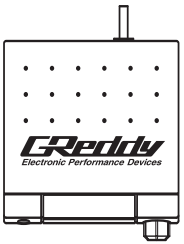
重要

- 本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられます。
- 本製品は12Ｖバッテリー搭載車に使用できます。

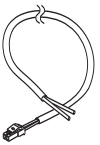
その他、各項目ごとに注意事項を掲載しておりますので必ずお読み下さい。

株式会社トラスト　本社　　ＴＥＬ.0479（77）3000
〒289ー1605　千葉県山武郡芝山町大台3155番地5

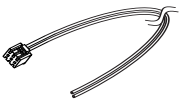
部品構成



本体（ハーネス1.0m）

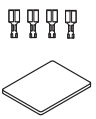


駆動ハーネス（2.0m）



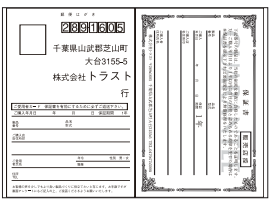
信号取り出しハーネス（1.0m）

ヒューズホルダー



平ギボシ×4
両面テープ

取扱説明書



保証書

上記部品・個数に相違がある場合は、必ず装着前にお買い上げ店、又は弊社までご連絡下さい。（住所・電話番号は最終ページに記載。）
又、保証書の製品番号と本体付属の製品番号が同じであることをご確認下さい。

オプションパーツについて

MULTI SWITCHING SYSTEM用オプションパーツ

商品名	定価
・MULTI SWITCHING SYSTEM用リレーキット	
・温度計用リペアセンサー	¥ 7,000
・ワーニングメーター温度計用センサーハーネス	¥ 3,500
・ターボメーター用圧力センサー	¥12,000
・油圧・燃圧計用リペアセンサー	¥12,000
・ワーニングメーター圧力計用センサーハーネス	¥ 3,500
・リモートスイッチングシステム	¥12,800
・スイッチングハーネス	¥ 1,200

※オプションパーツのご購入の際は、MULTI SWITCHING SYSTEMをお買い上げになられました販売店へご注文下さい。

本製品の特徴

・液晶表示を採用し、温度,回転数,車速等をリアルタイムに確認できます。
・純正の水温センサー信号に配線し、任意に設定した水温でFAN制御用リレーを駆動し、純正FANを作動させる事ができます。
・別売のリレーキットを使用してGReddy FANを駆動することが可能
・ソレノイド,ウォッシャースプレー等をリレーを使用せずに直接駆動する事が可能。
※（最大10A,連続使用５分まで）
・水温センサー信号の代わりにスロットル電圧等のアナログ信号、別売のブーストセンサー,圧力センサー,温度センサーを接続する事が可能。(別売のセンサーハーネスが必要)
・２CHを、それぞれ別々のポイントで駆動させる事が可能。
・ONポイント,OFFポイントが別々に設定できます。
・設定したポイントを超えた時、表示とアラームで警告するワーニング機能を搭載。
・最大値が確認できるピークホールド機能を搭載。
・別売のリモートスイッチングシステム,スイッチングハーネスを接続し、２CH同時に強制作動することも出来ます。

取り付け前の注意　必ずお読み下さい

取り付けに必用な物と工具		
・テスター（１５Ｖ以上計れるもの）	・ニッパー	・十、ードライバー
・プライヤーもしくはペンチ	・10mmスパナもしくはレンチ	
・ハンダゴテ、ハンダ	・絶縁テープ、タイラップ	

・取り付け作業を行う際は、エンジンが冷えてるのを確認して下さい。
・キーシリンダーから、キーを抜き、バッテリーマイナス端子を外して下さい。
・付属の配線には限りがありますので、取り回しをよく検討した上で作業を始めて下さい。また、配線を延長する場合は同程度の容量を持った物で行って下さい。
・事故防止のため必ずヒューズは取り付けて下さい。

作業者の方へのお願い

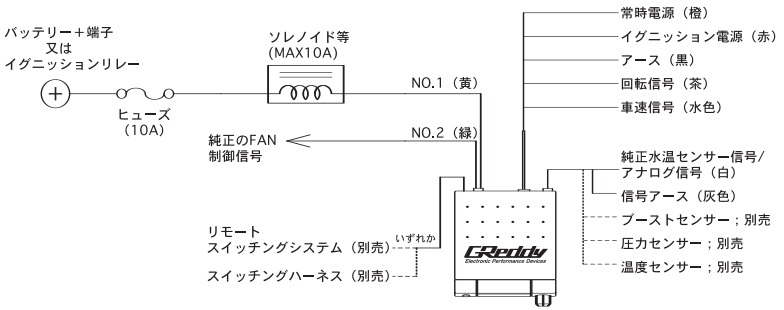
- 取り付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ずお客様に返却して下さい。

使用者へのお願い

- 本製品を取り付けた車両を、他の人に貸し出し、または譲渡する場合は、必ず本製品が取り付けられている事を知らせ、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ず渡して下さい。

配線方法

《配線例》



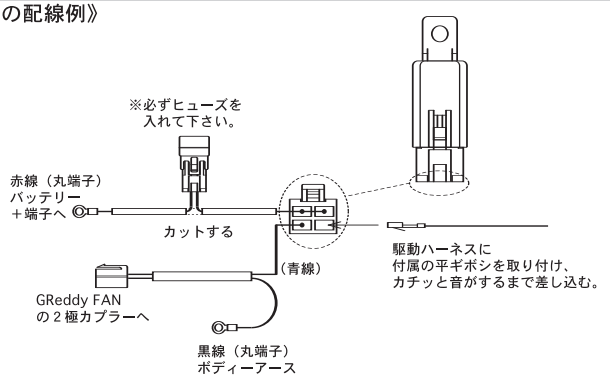
1.信号取り出しハーネス、又は、各センサーのセンサーハーネスを本体に接続します。
2.駆動ハーネスを車室内に引き込み、本体に接続します。
※ 直接駆動する場合、必ず駆動する製品の＋側に付属のヒューズを入れて下さい。
※リレーキットを使用する場合、Ｐ１０参照。
3.テスターを使用して、常時電源線（イグニッションキーをOFFにしても、１２Ｖとなる線）を見つけます。
4.バッテリーのマイナス端子を取り外し、イグニッション線に電源ハーネスの橙線をハンダ付けします。
5.テスターを使用して、イグニッション線（イグニッションキーをONにした時、１２Ｖとなる線）を見つけます。
6.バッテリーのマイナス端子を取り外し、イグニッション線に電源ハーネスの赤線をハンダ付けします。
7.電源ハーネスの黒線をアース線にハンダ付けします。ボディアースに接続する場合は接続する金属部分の塗装、サビをヤスリ等で落として、接続します。
※純正水温センサー、純正FAN制御信号は取り付ける車両の整備書で確認して下さい。
※ 回転信号は車両のECUのエンジン回転信号から取り出して下さい。
※ 車速信号は車両のECUの車速信号から取り出して下さい。

重要

- GReddy FANを駆動する場合、
  10A以下でも連続で５分以上駆動する場合、（純正FAN等のリレーは除く）
  駆動する製品の電流値がわからない場合、駆動する製品が10A以上の場合、
  必ず別売のMSSリレーキットを使って駆動して下さい。
- 回転信号は配線しなくても構いませんが、回転数での設定はできなくなります。
- 車速信号は配線しなくても構いませんが、車速での設定はできなくなります。
- 車種によっては回転信号、車速信号が取り出せない場合があります。

配線方法（MSSリレーキット）

《リレーキットの配線例》



本体の取り付け

付属の両面テープを使用して本体を取り付けます。

⚠ 警告

⚠ 助手席のエアバック上に、本製品を取り付けないで下さい。エアバック作動時に、飛び出し、ケガや事故を引き起こす原因となり、大変危険です。

お願い

- 両面テープを初面は、中性洗剤を使って汚れ、油分をよく拭き取って下さい。

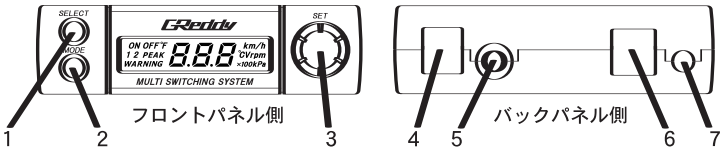
重要

- 本体は、運転の妨げにならない位置に確実に取り付けて下さい。また、高温、多湿となる場所を避け、直射日光のあたらない場所に取り付けて下さい。

取り付け後の確認　必ずお読み下さい

・取り外した純正部品を元通り取り付けて下さい。
・バッテリーのマイナス端子を元通りに取り付けて下さい。
・配線が無理な取り回しになっていないか確認して下さい。
・取り付けミスにより、車両及び本製品や関連商品が破損した場合、当社は一切の責任を負う事ができません。

各部の名称と機能



〈フロントパネル〉

1.SELECTスイッチ

・1回押し・・・・センサー表示、回転数表示、車速表示が切り替わります。

2.MODEスイッチ

・1回押し・・・・各設定画面へ移動します。
　　設定値の変更中、変更をキャンセルできます。

・2秒間押し・・・初期設定モードへ移動します。
　　初期設定モードから復帰します。

3.SETボリューム

・回す・・・・・・設定が変更できます。
　　右回しで数値が大きくなります。左回しで数値が小さくなります。

・押す・・・・・・設定の変更を確定できます。

〈バックパネル〉

4.信号取り出しハーネス/センサーハーネス用コネクタ（3P；黄色）

5.電源ハーネス

6.駆動ハーネス用コネクタ（2P）

7.オプション

・別売のリモートスイッチングシステム、スイッチングハーネスを接続するときに使用します。

⚠ 注意

⚠表示部を見つめると、気分が悪くなる場合がありますので十分注意して下さい。

お願い

- オプションには指定のもの以外接続しないで下さい。
- SETボリュームは丁寧に操作して下さい。強く押したり、無理な早さで回したりすると、認識しない可能性があります。

単位について

本製品の温度,圧力,速度の表示単位は℃,kPa,km/hですが、°F,PSI,m/h(MPH)に切り替えることができます。

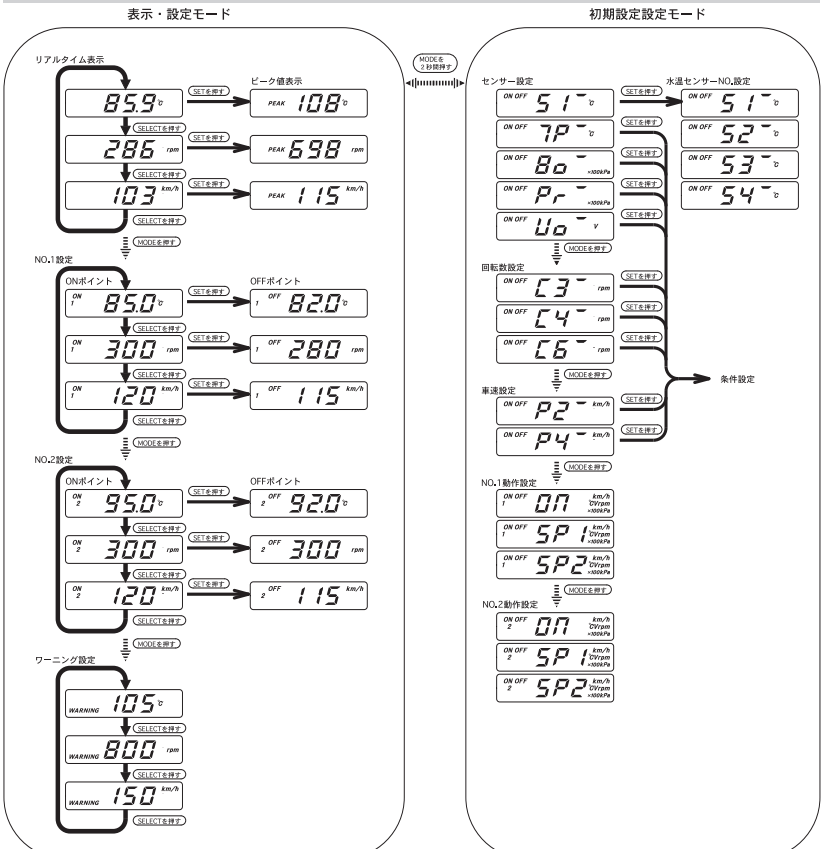
◎単位の切り替え方法

リアルタイム表示から、SELECTスイッチを 5 秒間押すと、単位を切り替えることができます。(もう一度同じ操作で元に戻ります。)

※出荷時は、℃,kPa,km/hに設定されています。

※°F,PSI,m/h(MPH)に設定した場合、×100kPaは点灯しません。

モード早見表



初期設定モード（センサー設定）

ここでは使用するセンサーの種類と作動条件を設定します。

◎センサー種別の設定方法

1.表示・設定モードからMODEスイッチを2秒間押して初期設定モードにします。(ON,OFFが点灯)

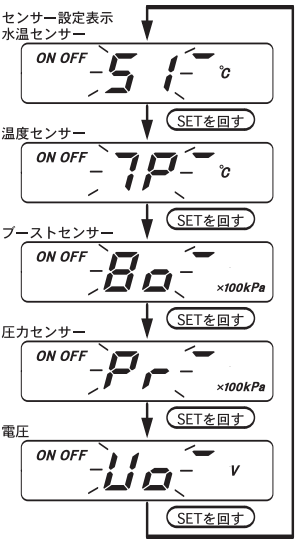
2.現在の設定が表示されるので、MODEスイッチを押してセンサー設定表示にします。

3.SETボリュームを回すとセンサーの種別が切り替わるので、希望のセンサー種別に設定し、SETボリュームを押して確定します。

※変更中にMODEスイッチを押すと変更はキャンセルされ、変更前の値に戻ります。

4.それぞれのセンサーの設定を参照して設定します。

水温センサー・・・・・・P13
温度センサー・・・・・・P14
ブーストセンサー・・・・P14
圧力センサー・・・・・・P14
アナログ電圧・・・・・・P14

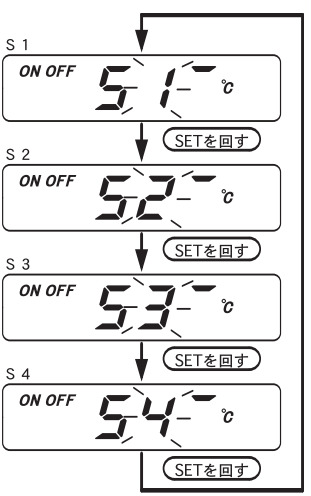


・水温センサーの場合

SETボリュームを回すとセンサーNO.が切り替わるので、車両に合わせて設定し、SETボリュームを押して確定します。

トヨタ・・・・・・・・・S1
日産・スバル・・・・・・S2
ホンダ・・・・・・・・・S3
三菱・・・・・・・・・・S4
マツダ・・・・・・・・・S1
スバル・・・・・・・・・S2

確定するとセンサー設定表示に戻ります。

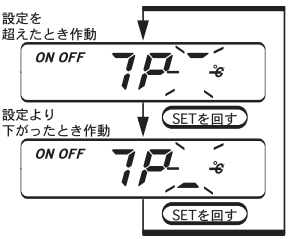


初期設定モード（センサー設定）

・温度センサーの場合

SETボリュームを回すと作動条件が切り替わるので、希望の条件に設定し、SETボリュームを押して確定します。

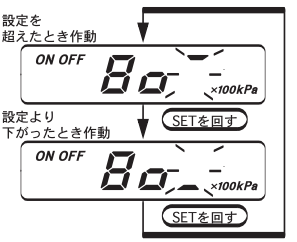
確定するとセンサー設定表示に戻ります。



・ブーストセンサーの場合

SETボリュームを回すと作動条件が切り替わるので、希望の条件に設定し、SETボリュームを押して確定します。

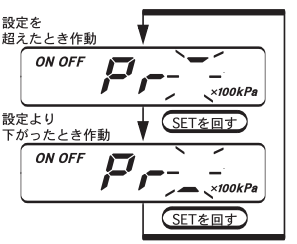
確定するとセンサー設定表示に戻ります。

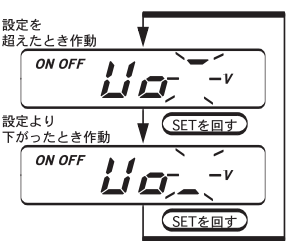


・圧力センサーの場合

SETボリュームを回すと作動条件が切り替わるので、希望の条件に設定し、SETボリュームを押して確定します。

確定するとセンサー設定表示に戻ります。





初期設定モード（回転数設定）

ここでは車両の気筒数と回転数の作動条件を設定します。

◎設定方法

1 . 表示・設定モードからMODEスイッチを 2 秒間押して初期設定モードにします。

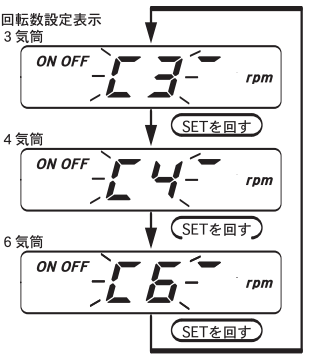
2 . 現在の設定が表示されるので、MODEスイッチを押して回転数設定表示にします。

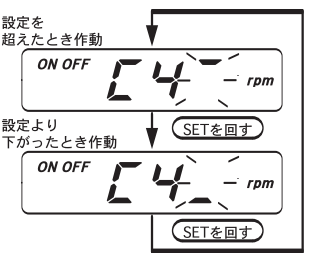
3 . SETボリュームを回すと気筒数が切り替わるので、車両の気筒数に設定し、SETボリュームを押して確定します。

※変更中にMODEスイッチを押すと変更はキャンセルされ変更前の回転数設定表示に戻ります。

4 . SETボリュームを回すと作動条件が切り替わるので、希望の条件に設定し、SETボリュームを押して確定します。

5 . 確定すると回転数設定表示に戻ります。





重 要

- 本製品の回転数表示は 1 /10の表示になります。
- 回転信号は必ず取り出さなくても構いませんが、回転数での設定はできなくなります。その際は、必ず、「設定を超えたときに作動」に設定し、設定を「 0 」rpmにして下さい。

初期設定モード（車速設定）

ここでは車両の車速パルス数の設定と車速の作動条件を設定します。

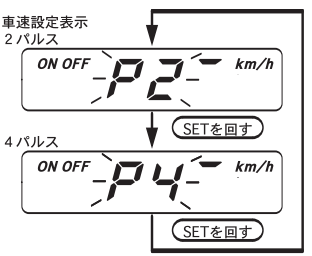
◎設定方法

1. 表示・設定モードからMODEスイッチを 2 秒間押して初期設定モードにします。

2. 現在の設定が表示されるので、MODEスイッチを押して車速設定表示にします。

3. SETボリュームを回すとパルス数が切り替わるので、車両のパルス数に設定し、SETボリュームを押して確定します。

※変更中にMODEスイッチを押すと変更はキャンセルされ変更前の車速設定表示に戻ります。



日産車

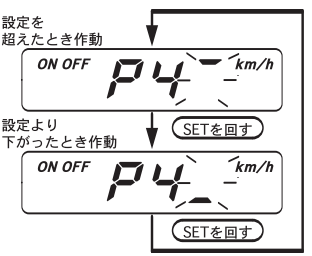
（Y３２セドリック

/グロリア/Y３２シーマを除く）・・・２パルス

その他のメーカー・・・・・・・・・・・・４パルス

4. SETボリュームを回すと作動条件が切り替わるので、希望の条件に設定し、SETボリュームを押して確定します。

5. 確定すると車速設定表示に戻ります。



重 要

- 一部（２パルス, 4 パルス以外）の車種は、車速表示はできません。
- 車速信号は必ず取り出さなくても構いませんが、車速での設定はできなくなります。その際は、必ず、「設定を超えたときに作動」に設定し、設定を「０」km/hにして下さい。

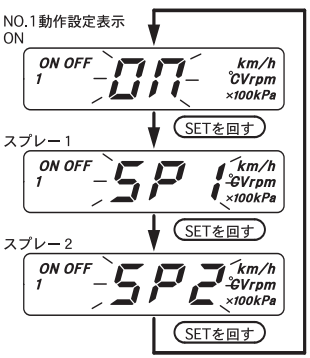
初期設定モード（NO.1動作設定）

ここではNO.1が作動したときの作動を設定します。
ＳＰ１・・・・・１秒間ON, 1 秒間OFF
ＳＰ２・・・・・１秒間ON, 3 秒間OFF
◎設定方法
1 . 表示・設定モードからMODEスイッチを 2 秒間押して初期設定モードにします。

2 . 現在の設定が表示されるので、MODEスイッチを押してNO.1動作設定表示にします。

3 . SETボリュームを回すと動作が切り替わるので、希望の動作に設定し、SETボリュームを押して確定します。
※変更中にMODEスイッチを押すと変更はキャンセルされ変更前のNO.1動作設定表示に戻ります。

4 . 確定するとNO.1動作設定表示に戻ります。



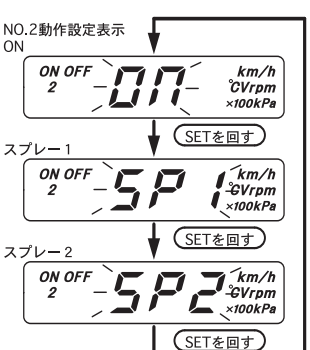
初期設定モード（NO.2動作設定）

ここではNO.2が作動したときの作動を設定します。
ＳＰ１・・・・・１秒間ON, 1 秒間OFF
ＳＰ２・・・・・１秒間ON, 3 秒間OFF
◎設定方法
1 . 表示・設定モードからMODEスイッチを 2 秒間押して初期設定モードにします。

2 . 現在の設定が表示されるので、MODEスイッチを押してNO.2動作設定表示にします。

3 . SETボリュームを回すと動作が切り替わるので、希望の動作に設定し、SETボリュームを押して確定します。
※変更中にMODEスイッチを押すと変更はキャンセルされ変更前のNO.2動作設定表示に戻ります。

4 . 確定するとNO.2動作設定表示に戻ります。

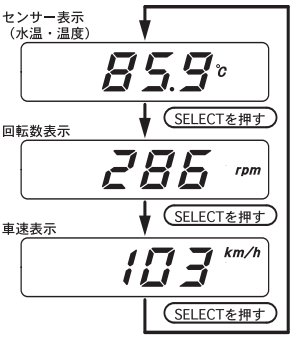


表示・設定モード（リアルタイム表示）

◎表示の切り替え方法

リアルタイム表示からSELECTスイッチを押すとセンサー表示、回転数表示、車速表示の順に切り替わります。

（本製品の回転数表示は 1 /10の表示になります）

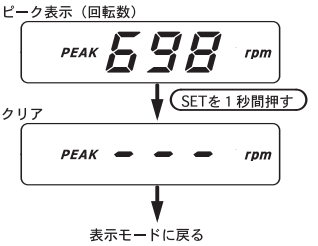


◎ピーク値の表示方法

リアルタイム表示からSETボリュームを押すとピーク値が表示されます。

※表示中にMODEスイッチを押すとリアルタイム表示に戻ります。

※ 4 秒間何も操作しないとリアルタイム表示に戻ります。



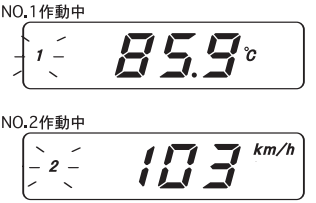
◎ピーク値のクリアク方法

ピーク値表示中にSETボリュームを 1 秒間押すとピーク値はクリアされ、リアルタイム表示に戻ります。

◎作動中の動き

NO.1が作動中は、画面の 1 が点滅します。

NO.2が作動中は、画面の 2 が点滅します。



表示・設定モード（NO.1設定）

ここでは、NO.1の動作ポイントを設定します。
センサー,回転数,車速に対してONポイントとOFFポイントを設定します。
ONポイントを設定後、OFFポイントを設定します。

・設定値を超えたとき作動させる場合
　ONポイント＞OFFポイント
・設定値を超えたとき作動させる場合
　ONポイント＜OFFポイント
　に設定します。

◎設定方法

1 . リアルタイム表示からMODEスイッチを押すと、NO.1設定表示になります。

※ 4 秒間何も操作しないとリアルタイム表示に戻ります。

※表示中にSELECTスイッチを押すとセンサー表示、回転数表示、車速表示が切り替わります。

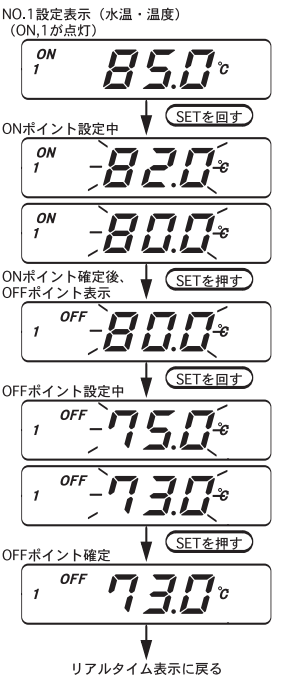
2 . SETボリュームを回すとONポイントが変化するので、希望のポイントに設定し、SETボリュームを押して確定します。

※設定中にMODEスイッチを押すとNO.1設定表示に戻ります。

3 . SETボリュームを回すとOFFポイントが変化するので、希望のポイントに設定し、SETボリュームを押して確定します。

※設定中にMODEスイッチを押すとNO.1設定表示に戻ります。

4 . 確定するとリアルタイム表示に戻ります。



重 要

- 本製品は設定したセンサー、回転数、車速の条件ををすべて満たさないと作動しません。

表示・設定モード（NO. 2 設定）

ここでは、NO.2の動作ポイントを設定します。
センサー,回転数,車速に対してONポイントとOFFポイントを設定します。
ONポイントを設定後、OFFポイントを設定します。

・設定値を超えたとき作動させる場合
　ONポイント＞OFFポイント
・設定値を超えたとき作動させる場合
　ONポイント＜OFFポイント
　に設定します。

◎設定方法

1 . リアルタイム表示からMODEスイッチを 2 回押すと、NO.2設定表示になります。

※ 4 秒間何も操作しないとリアルタイム表示に戻ります。

※表示中にSELECTスイッチを押すとセンサー表示、回転数表示、車速表示が切り替わります。

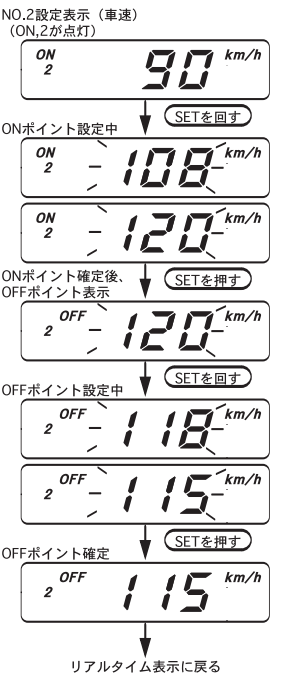
2 . SETボリュームを回すとONポイントが変化するので、希望のポイントに設定し、SETボリュームを押して確定します。

※設定中にMODEスイッチを押すとNO.2設定表示に戻ります。

3 . SETボリュームを回すとOFFポイントが変化するので、希望のポイントに設定し、SETボリュームを押して確定します。

※設定中にMODEスイッチを押すとNO.2設定表示に戻ります。

4 . 確定するとリアルタイム表示に戻ります。



重 要

- 本製品は設定したセンサー、回転数、車速の条件ををすべて満たさないと作動しません。

表示・設定モード（ワーニング設定）

ここでは、センサー、回転数、車速にそれぞれワーニングポイントを設定します。
どれか１つでも設定したポイントになるとバックライト（赤）とブザー音で警告します。

◎設定方法

１. リアルタイム表示からMODEスイッチを３回押すと、ワーニング表示になります。
※４秒間何も操作しないとリアルタイム表示に戻ります。
※表示中にSELECTスイッチを押すとセンサー表示、回転数表示、車速表示が切り替わります。

２. SETボリュームを回すとワーニング値が変化するので、希望のワーニング値に設定し、SETボリュームを押して確定します。
※設定中にMODEスイッチを押すとワーニング表示に戻ります。

３. 確定するとリアルタイム表示に戻ります。

設定例　（本製品が駆動できるのは2CHまでです）

駆動	作動条件	回転数設定	車速設定	動作設定
GReddy FAN	水温85℃以上	0rpm以上	100km/h以下	ON
ウォータースプレー	水温85℃以上	2000rpm以上	40km/h以上	SP2
オイルポンプ	温度85℃以上	2000rpm以上	20km/h以上	ON
燃料ポンプ	ブースト100kPa以上	3000rpm以上	40km/h以上	ON
ソレノイドバルブ	ブースト100kPa以上	3000rpm以上	40km/h以上	ON
ソレノイドバルブ	電圧4.2V以上	3000rpm以上	40km/h以上	ON
ワーニングランプ	電圧4.2V以上	8000rpm以上	0km/h以上	ON

《設定メモ》

CH	駆動製品	センサー	作動条件	回転数	車速	動作設定
1			以上,以下	以上,以下	以上,以下	ON,SP1,SP2
2			以上,以下	以上,以下	以上,以下	ON,SP1,SP2

トラブルシューティング

症　状	考えられる原因	対処方法
1. 作動しない	・ヒューズが切れている。	・駆動する物の電流値が大きすぎる可能性があります。電流値が10Aを超える場合、リレーを取り付けて下さい。
	・駆動する物の電源がとれていない。	・駆動する物のプラス側にバッテリー電圧がかかっているか確認して下さい。
	・配線を間違えている。	・駆動する物のマイナス側が駆動ハーネスに配線されているか確認して下さい。
	・すべての条件を満たしていない。	・センサー,回転数,車速すべてに設定を行って下さい。
	・作動条件の設定を間違っている。	・作動条件を見直して下さい。
2.回転数がずれて表示される	・気筒数の設定が間違っている。	・Ｐ１５を参照して気筒数の設定を行って下さい。
3. 車速がずれて表示される	・パルス数の設定が間違っている。	・Ｐ１６を参照してパルス数の設定を行って下さい。

アフターサービスについて

・本製品について、何かご不明な点がございましたら、弊社までご連絡下さい。
・付属されている保証書は、大切に保管して下さい。
・新品をお買い上げの時点で保証書の製品番号と付属の製品番号が異なる場合は、お手数ですがお買い上げ店、または弊社までご連絡下さい。
・保証書、MULTI SWITCHING SYSTEM本体の製造番号は、当社の厳密な検査に合格した物である事を証明します。万一、ご購入年月日より１年以内に当社の責任と認められる故障を生じた場合は、保証書と合わせて製品をご提示下されば、無償修理を致します。
・保証期間経過後の修理、また、お客様の不注意により修理が必要になった場合でも、お気軽に弊社までご連絡下さい。

株式会社トラスト　本社
〒289ー1605　千葉県山武郡芝山町大台3155番地5
ＴＥＬ.0479（77）3000

株式会社トラスト　〒289-1605 千葉県山武郡芝山町大台3155-5　TEL.0479（77）3000

第1版　平成15年6月印刷

TRUST CO.,LTD

MADE IN JAPAN